

一方、倅のことであるが、九歳のときから遊ばせず、棧俵の廃品を拾い集めて錢縶(ぜにさし)をなわせ、両替屋・問屋に売らせたが、人が思いもよらない錢儲けをして、倅は自分の腕で稼ぎ出し、後には確かな人へ小判の一日貸しや、はした銀の当座貸し出しをした。十年たないうちに両替仲間の一流となって、方々に貸し出して自分の分は借りる事もなく、本両替の手代がこの男に腰をかかめて機嫌を取るほどになった。」とあります。もともと唐金屋は生粋の佐野の出身です。これが唐金屋の始まりだそうです。

船場を中心に商いをしていたらしいので、佐野ではどういう商売で大きくなったのかは知られていませんが、名前だけはよく知られています。

現在、泉佐野駅の駅下がりのつきあたりにある時計店の隣に洋館のような建物がまだ残っています。

それが唐金屋が泉佐野で銀行を始めた建物です。

事務局より：紙面スペースの都合上、途中までの掲載となります。申し訳ございません。

卓話内容は横河様の蔵書、「泉州むかしむかし・ちぬの海 小林利郷編著」より引用されています。

この本に興味をお持ちの会員様は、横河様にお問い合わせ下さい。

6月例会スケジュールおよび卓話担当者ご案内

- 6月13日 卓話 宮内良平 君 講師：乙訓昭法 様 第11回定例理事会
- 6月20日 卓話 古川友治 君
- 6月27日 会長・幹事退任挨拶 会長 新井昭人 君 幹事 渡邊員行 君
予算総会 次年度幹事(会計)

ここにこ箱



第1194回例会

ニコニコ箱 ¥ 19,000

今年度累計 ¥ 605,000

- 新井 昭人 君 … 家内の誕生日祝(大きなお世話?)有難うございます。
- 渡邊 員行 君 … お祝出来る年齢でもありませんが(夫人誕生日)有難うございます。
- 松本 厚志 君 … 会員誕生日祝、有難うございます。
- 向井 新 君 … 宮内さん、台湾の思い出の写真、沢山有難うございます。
- 高橋 克広 君 … 例会欠席のお詫び。
- 筒井 敦子 君 … 先週欠席のお詫びと、宮内さん、写真有難うございます。
- 横河 僖治 君 … 卓話よろしく。

第1194回例会出席報告

総 会 員 数	17名
名 誉 会 員 数	4名
出 席 計 算 会 員 数	17名
出 席	11名
メ ー ク ア ッ プ	0名
欠 席	6名
出 席 率	64.70%
前 回 出 席 率	70.58%

☆皆出席テーブル M1

☆ビジター なし

☆メイクアップ なし

第1195回例会

2023年6月13日

関西国際空港ロータリークラブ



ANA/B787-8
"Green Jet"

写真提供・解説：元・住重関西施設管理(株) 片山敏彦 様

ANAは、2022年10月よりサステナビリティ(持続可能性)をテーマにした特別塗装機B787「Green Jet」を国際線/国内線に各1機運航しています。通常のトリトンブルーをグリーン系の塗装に変え、CO2排出量削減のために廃食油や動植物油などを原料にした代替航空燃料の使用、機体表面に空気抵抗の低減と燃費向上、ひいてはCO2排出量削減につながる「サメ肌効果」を得られるフィルムを貼った試験、機内食等に使われるプラスチック類の廃止など、環境に優しいフライトの実現をめざしています。



次例会

第 1196 回

2023年6月20日

《卓話》

「未定」

担当：古川 友治 君

今週のプログラム

《卓話》

「関西国際空港の昔話②」

担当：宮内 良平 君

講師：元全日空機長 乙訓 昭法 様

今週のロータリーソング

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y
That spells Rotary;
R-O-T-A-R-Y
Is known on land and sea;
From North to South,
from East to West.
He profits most
who serves the best;
R-O-T-A-R-Y
That spells Rotary;

本日のメニュー

シーフードとレタスのマリネ
グリーンピースの冷製スープ
鶏もも肉のソテー
生姜風味のプチトマトのソース
パン2種&バター
なめらかレアチーズケーキ
ブルーベリーのソースと共に
コーヒー

R.I.第2640地区
関西国際空港ロータリークラブ

事務局
〒549-0001
大阪府泉佐野市泉州空港北1番地
ホテル日航関西空港内
TEL 072-455-4766
FAX 072-455-4767
e-mail kankurc@rhythm.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日 12:30
ホテル日航関西空港内
(『ジェットストリーム』)
TEL 072-455-1111

会 長 新井昭人
幹 事 渡邊員行
会報委員長 川崎真範
会報委員 高橋克広

四つのテスト



国際ロータリー2022-2023年度会長
ジェニファー・ジョーンズ
2022-2023年度
国際ロータリーのテーマ
「イマジンロータリー」

先々週例会報告

第1194回例会 6月6日

関西国際空港ロータリークラブ

会長報告

先日、朝の番組でウォーレンバフェットの話が取り上げられていました。彼は、お金があるから投資してナンボというタイプではなく、リスクを取っていくタイプだそうです。

彼が日本の株を買ったというだけで、株がバブル崩壊後の最高値になるくらい影響力があります。リスクを取る、というのが私はよく解らないのですが、日本だと金利1%代でしょうか。あの人が投資する企業は、配当利回り4~5%あるような所です。1,000億借りて1,000億投資したら年間300億は入ってきます。他人の禪でそこまで儲けるか…と思いました。

もう一つ驚いたのは、彼と「昼食する会」というのが企画されたのですが、その権利を入札するのに26億円。ウォーレンバフェットと食事するのに26億円ですよ。

その席で何の話をしてくれるのかというと、彼の人生観のような話だったそうです。

26億円払った人に「どんな事を勉強しましたか?」と聞くと、「目的を持って、自分の好きなものに囲まれて、自分らしく生きる事が大事なんだ、という事がよく解りました。」と、言ったそうです。そんなもん、あなた26億円持ってるんやったら好きなものに囲まれて生活出来ませ…と言いたくなりました。これが、ここ最近一番気になったニュースです。

それと、皆さんはどこかの玄関先で靴を脱いだら揃えますよね。その時に、揃えられていない靴をついでに揃えてあげる人っていると思うんです。私のかかりつけの歯医者が、靴を脱いで入るようになっていたのですが、ある時おばあさんが靴を脱いでスリッパを履いて入ってきたんです。で、次に来た女性がおばあさんの脱いだ靴を揃えてあげたんです。すると、そのおばあさんが帰る時、揃えられた向きが逆になっていたのでものを向いて靴を履いたんです。おばあさんからすると余計なお世話なのかなあと思いました。

サラリーマン時代、営業部長をしていた頃の話ですが、外回りが多い部下に「電話だけはすぐに出る。」と言っていました。当時は、なかなか電話に出ない部下は、忙しいんだなと思っていたんです。しかしある時、すぐ電話に出る部下は忙しくて、なかなか電話に出ない部下は暇なんだという事に気づきました。

私が現役の時、スケジュールの調整をする時は、スケジュールがある上にスケジュールを積んでいく、というやり方をしていました。そうすると空いた日は1日空けられますから。

あと、年を取ったなあと思うのが、名前がなかなか出て来ない。

私は眼圧が高いので、毎朝点眼しています。もう残り少ないなと思って、新しいのを出してきて古いのを捨てたんです。次の日、点眼しようと思ったら中身が無くて。どうやら新しいのを捨ててしまったんです。

もう一つは、友人と飲みに行った帰りに躓いて転んでしまいました。

振り返るとどこにも段差がない。ショックを受けた…というお話でした。

会長 新井 昭人 君



ご夫人誕生日

渡邊 祥子さん(11日)
新井 光子さん(27日)



会員誕生日

松本 厚志 君(9日)

幹事報告

【回覧】

- ◎和歌山南RCより地区立法案検討会についての通告書(5月22日付)
- ◎規定審議会代表議員・岡本浩様よりご報告(5月31日付)
- ◎和歌山南RC会長・中村和子様より申入書(6月5日付)
- ◎アイカ・泉佐野地球交流協会機関誌(第329号)
- ◎泉佐野地球交流協会・第21回定期総会冊子
- ◎ROTARY (英語版) 6月号 ◎泉佐野会議所月報6月号
- ◎他クラブ例会情報

【配付】

- ◎ロータリーの友6月号
 - ◎次年度年間カレンダー (案)
- 卓話担当はいつでも変更可能です。
変更をご希望の会員様は事務局・生田まで遠慮なくお申しつけください。

幹事 渡邊 員行 君



卓話

《 泉州の豪商 》

以前、番匠谷さんが卓話で「北前船」の話をされたと思います。重なる部分もあると思いますが、少し方向を変えて「唐金」の話をしようと思います。

泉州の豪商と言えば食(めし)家が有名ですが、その他に唐金屋、矢倉など、特に堺の納屋衆が有名です。当時は北前船だけではなく、他にもたくさんの回船が日本各地を回っていたようです。

この泉州一帯は、綿が良く取れたそうで、その肥料に干鰯を使ったと言われていました。干鰯(ほしか)屋という名前も泉州に名前が残っています。それで和泉木綿の生産が盛んになったと言われていました。

食(めし)家の事はよく言われておまして、現在では食野(食野)家と呼ばれています。昔はメシと呼んでいました。食家が没落してから食野という名前になったのではと思っています。

「ちぬの海」という本の中に、食家の事が書かれてあります。もとの姓は森本氏。なぜ食を名乗るようになったのかは不明ですが、いつの間にか名乗るようになったようです。

唐金屋については、井原西鶴が「日本永代蔵」に書いた名高い商人です。

一部紹介させていただきます。「近ごろ泉州に唐金屋という金銀に豊かな人が現れた。生業のために大船を作って、それを神通丸と名付け、三千七百石を積んでも船足軽く、北海の海を自由自在に乗り回し、難波の港に米を運んで商いして、しだいに家が栄えたが、それは万事につけてこの男、やりくりが上手かったからである。」

船場には物凄く米が集まったということで、「難波橋より西を見渡したときの光景はといえば、数千軒の間屋が棟を並べ、蔵の白壁が雪のあけぼの以上に白くかがやき、杉の形に積んだ米俵を山がそのまま動くかのように馬に付けて送ると、大道が轟き地雷のようだ。」と書かれています。

「商人も数多いるが、中でも中之島の岡・肥前屋・木屋・深江屋・肥後屋・塩屋・大塚屋・桑名屋・鴻池屋・紙屋・備前屋・宇和島屋・塚口屋・淀屋などは、ここに長年いる金持ちで、表向きの商いはやめて、金融業などで多くの使用人を養っている。」

また、「北浜に九州米を陸揚げする際、米刺しからこぼれて、廃りものになる米を掃き集めて、その日暮らしをしている老女がいたが、器量が悪いので、二十三で後家になったのに後夫になってくれる人もなく、一人の倅を行く末の楽しみに年月を送っていた。」これが、唐金の始まりらしいです。「それがいつの頃だったか、諸国の田祖の率が引き上げられて年貢米が増え、米が大量に大阪に運ばれるようになった。夜昼かかっても陸揚げしきれず、借蔵もいっぱいになって置き所もなく、あちこちと運び変えるごとに落ちる米を、その老女は塵と一緒に掃き集めたが、朝夕食べてもなお残って、一斗四、五升たまったので、それから欲が出て俵約し、はやその年のうちに七石五斗にも増やしてひそかに売り、翌年なお俵約して増やしたので、毎年増え続けて二十余年の間にへそくり金を十二貫五百目にした。

横河 信治 君

